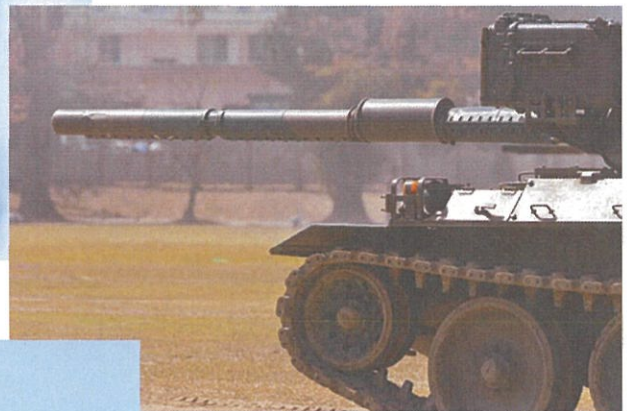


2019 三多摩憲法のつどい

# 日米軍事一体化と9条改憲 ～アベさん9条棄てるってよ～



講師 ふ せ ゆう じん  
**布施 祐仁** 氏 (ジャーナリスト)

2019 **6/7** (金) 午後 **6:00** 開場 午後 **6:30** 開演

立川市女性総合センター  
アイム1Fホール **入場無料**





## M E S S A G E

安倍政権は、憲法9条に自衛隊の文言を書き加えることに躍起になっています。この「改憲」の真の目的は、米軍と一体になって、アメリカの戦争に加担することにあるということをよく耳にします。現に安倍政権は、自衛艦「いずも」を空母化して米軍機を搭載できるようにしたり、アメリカから兵器を大量に購入したりと、米軍との軍事的なつながりを強化しています。

このような流れの中、9条に自衛隊を書き加える「改憲」が行われれば、ますます危険な事態になっていくのではないのでしょうか。

このような思いから、今年の「三多摩憲法のつどい」では、ジャーナリストの布施祐仁氏をお招きし、いま、自衛隊と米軍をめぐる何が起きているのか、9条「改憲」の危険性はどこにあるのかについて、お話しいただくことにしました。

布施氏は、自衛隊南スーダン派遣部隊が作成した日報の情報公開を行い、日報問題が表面化するきっかけを作り、さらには、日米地位協定のもとでの自衛隊と米軍の軍事的な一体化を、軍事費の使われ方を含め、圧倒的な事実に基づいて明らかにしてきました。

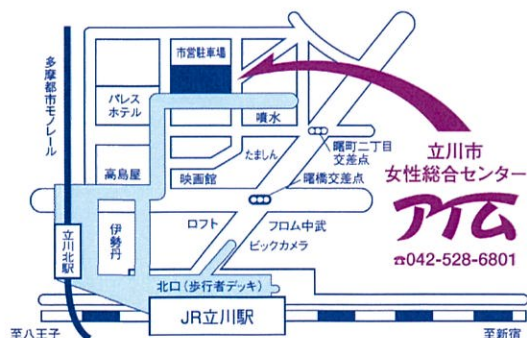
9条「改憲」のその先に待ち受けるのは、戦争か平和か。私たちが選ぶべき選択はどちらなのか。布施氏の豊富な取材をもとにした「リアル」をお話しいただき、この問題について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

**お知らせ** 開演後、すぐに布施氏のご講演となります。

### 講師

ふせ ゆうじん  
**布施 祐仁氏**

1976年生まれ。ジャーナリスト／『平和新聞』編集長。著書に『日米密約 裁かれない米兵犯罪』（岩波書店）、『経済的徴兵制』（集英社）、『日報隠蔽 南スーダンで自衛隊は何を見たのか』（共著、集英社）などがある。平和協同ジャーナリスト基金賞、日本ジャーナリスト会議のJCJ賞、石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞などを受賞。



(連絡先)

### 2019 三多摩憲法のつどい実行委員会

〒190-0014 立川市緑町4-4 立川北口薬局ビル4階 三多摩法律事務所内 Tel.042-524-4321 Fax.042-524-4093